

平成 28 年度調査研究発表会の開催報告

一般社団法人新都市ハウジング協会では、この一年間の調査研究や実験等の成果を会員等の皆様に報告すると共に、ご意見をお伺いするために「調査研究発表会」を毎年開催しておりますが、今年度は、協会設立 20 周年にあたり記念講演会を兼ねて開催しました。内容は表彰選考委員会・CFT 造普及委員会・都市居住研究委員会・長寿命建築システム普及推進委員会における調査研究の成果報告に加えて

- ・国土交通省住宅局 村上 真祥様 「新たな住生活基本計画について」
- ・首都大学東京 名誉教授 深尾 精一様 「建築・住宅を使い続けるためにリノベーションに求められること」

と題しました記念特別講演を行いました。

また、発表会終了後は会場を移して交流会が開催され、発表会での発表内容や日頃の調査研究活動を振り返りながら、和やかに歓談されました。

なお、参加者は、発表会 156 名、交流会 46 名でした(協会事務局 12 名を含む)。

- ・日 時 : 平成 28 年 7 月 8 日(金) 13:00~17:45
- ・場 所 : 大成建設株式会社 大会議室 (交流会 : 6 階カフェテリア 18:00~19:00)

■プログラム

- 開会の挨拶 新都市ハウジング協会専務理事 松井 敏夫
- 特別講演(1) : 「新たな住生活基本計画について」
国土交通省住宅局住宅政策課 住宅国際対策官 村上真祥様
- 表彰選考委員会の報告
・「2016CFT 構造賞」 表彰選考委員会前委員長 山本 明男(鹿島建設株式会社)
- CFT 造普及委員会の報告
・「CFT 造普及委員会の歩みと展望」 CFT 造普及委員会委員長 依田 博基(株式会社久米設計)
- 都市居住研究委員会の活動成果報告
・「都市居住委員会の歩みと展望 ～低層建築から超高層建築そして都市へ～」
都市居住研究委員会委員長 澤田 勝(株式会社竹中工務店)
・「超高層住宅の企画と技術 ～東日本大震災で何が変わったか～」
都市型住宅分科会主査 小多 泰博(鹿島建設株式会社)、森本 修弥(株式会社日本設計)
- 長寿命建築システム普及推進委員会の活動成果報告
・「平成 27 年度活動報告」 長寿命建築システム普及推進委員会前委員長 山本 明男(鹿島建設株式会社)
・「大震災被災後も使用可能な建築物を目指して(その 4)」 スカトワ WG 主査 岡安 隆史(鹿島建設株式会社)
・「建築基礎 WG の活動成果報告」 建築基礎 WG 主査 成原 弘之(大成建設株式会社)
・「住棟インフラ整備に関する検討」 住棟インフラ WG 主査 川崎 直宏(市浦ハウジング&プランニング)
・「次世代エネルギーインフラが作る業住複合立体区画のスタディ」
技術インフラ WG 近角 真一(集工舎建築都市デザイン研究所)
・「地域特性・規模に対応した整備モデルにおける次世代型エネルギーインフラシステムの検討」
技術インフラ WG 主査 山崎 雄介(芝浦工業大学客員教授)
- 特別講演(2) : 「建築・住宅を使い続けるためにリノベーションに求められること」
首都大学東京 名誉教授 深尾 精一様
- 閉会の挨拶 新都市ハウジング協会専務理事 西川 広一

発表会・交流会



「平成28年度調査研究発表会」のアンケート結果

- ・発表会日時：平成28年7月8日(金) 13:00～17:45 於・大成建設大会議室
- ・アンケート回収率：58% (=75/130人(参加者156名－事務局・特別講師・マスコミ 26名=130名))

質問	テーマ(項目)・評価											人数
	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	
Q1 発表会全体について	非常に良かった	[Bar chart showing 19 votes]										19
	良かった	[Bar chart showing 42 votes]										42
	普通	[Bar chart showing 7 votes]										7
	悪かった	[Bar chart showing 0 votes]										0
	非常に悪かった	[Bar chart showing 0 votes]										0
Q2 発表内容で良かったもの(複数選択可)	[特別講演] 「新たな住生活基本計画について」	[Bar chart showing 42 votes]										42
	[表彰選考委員会] 「2016 CFT構造賞」	[Bar chart showing 14 votes]										14
	[CFT造普及委員会] 「CFT造普及委員会の歩みと展望」	[Bar chart showing 19 votes]										19
	[都市居住] 「都市居住研究委員会の歩みと展望 ～低層建築から超高層建築そして都市へ～」	[Bar chart showing 30 votes]										30
	[都市居住] 「超高層住宅の企画と技術 ～東日本大震災で何が変わったか～」	[Bar chart showing 39 votes]										39
	[長寿命] 「平成27年度活動報告」	[Bar chart showing 6 votes]										6
	[長寿命] 「大震災後も使用可能な建築物を目指して(その4)」	[Bar chart showing 23 votes]										23
	[長寿命] 「建築基礎WG活動成果報告」	[Bar chart showing 24 votes]										24
	[長寿命] 「住棟インフラ整備に関する検討」	[Bar chart showing 20 votes]										20
	[長寿命] 「次世代エネルギーインフラが作る業住複合立体区画のスタディ」	[Bar chart showing 25 votes]										25
[長寿命] 「地域特性・規模に対応した整備モデルにおける次世代型エネルギーインフラシステムの検討」	[Bar chart showing 33 votes]										33	
[特別講演] 「建築・住宅を使い続けるためにリノベーションに求められること」	[Bar chart showing 58 votes]										58	
Q3 会場は如何でしたか?	非常に良かった	[Bar chart showing 35 votes]										35
	良かった	[Bar chart showing 33 votes]										33
	普通	[Bar chart showing 4 votes]										4
	悪かった	[Bar chart showing 1 vote]										1
	非常に悪かった	[Bar chart showing 0 votes]										0
Q4 主催者側の対応は如何でしたか?	非常に良かった	[Bar chart showing 33 votes]										33
	良かった	[Bar chart showing 37 votes]										37
	普通	[Bar chart showing 3 votes]										3
	悪かった	[Bar chart showing 0 votes]										0
	非常に悪かった	[Bar chart showing 0 votes]										0
Q5 発表会の意見・質問等	<p>アンケートに回答して頂きました方から、ご意見・ご感想を頂きました。</p> <p>[意見・要望、質問]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全体・各委員会」: <ul style="list-style-type: none"> ・新都市ハウジング協会が行っている調査、研究の内容が総括的に知ることができ、とても有意義な会でした。司会者の進行も良かったです。 ・それぞれの発表にもう少し時間がとれれば、よりわかり易かったと思います。 ・発表内容はとても充実していましたが、もう少し全体時間を短くして、終わり時間を早めにしていただくと良かったと思います。 ・報告テーマが多すぎる印象でしたので、もう少し絞って報告していただくと良かったです。 ・報告内容が活動報告や現況紹介にとどまらず、現実に直面している問題に対する課題解決のヒントになるような具体的方策にまで言及していただくと良かったです。 ・「特別講演」 <ul style="list-style-type: none"> ・村上様のお話は、大変有意義でした。1時間程時間を設けていただければ良かったです。 ・深尾先生のお話は、欧州の住宅の歴史を豊富な写真で語っていただき興味深かったです。ストックの活用には、魅力アップが必要という話が印象的でした。 <p>※その他個々のご質問については協会より質問者様にご回答させていただきます。</p> <p style="text-align: right;"><ご協力、ありがとうございました></p>											